

とても楽しかった7年ぶりのバス旅行——塩尻のぶどう狩りへ

中津川共立クリニック(共栄会) 佐伯昭二

中津川共立クリニック(共栄会)、城山病院(四ッ葉会)、市立恵那病院(ささゆり会)の3団体は、8月23日、酷暑日でありましたが、7年ぶりの日帰り旅行を行いました。共栄会と四ッ葉会は、2019年までは、毎年日帰り旅行を行っていましたが、2020年のコロナ禍以降、クリニック側もより慎重なこともあり、2024年・25年は許可が下りませんでした。しかし、今回はコロナ禍の心配もなく、実に7年ぶりの旅行でした。ようやく解放感を味わうことができた旅行でした。

7年ぶりなので参加体制が心配されましたが、共栄会はスタッフ2名、家族を含めて25名、四ッ葉会は3名、ささゆり会はスタッフ2名、家族を含めて5名、総勢33名で塩尻のブドウ園へ向かいました。途中の白樺リゾートでは「世界の影絵・切り絵美術館」を見学しました。世界的な画家である藤城清治が描くメルヘンの世界に酔いしれました。昼食はすぐそばの「池之平レイクサイドプラザ」でおいしくいただきました。白樺湖周辺は夏休み最後の日曜日とあって、かなりの観光客でにぎわっていました。

昼食後は、塩尻の「土田園」へ。8月23日から「巨峰」の解禁日と会って、全員「巨峰」が垂れさがる場所へ案内してもらいました。あまりにも糖分が豊富でおいしかったわけですが、カリウムの取りすぎが心配されるため、ほとんど(患者)の方が、一房でやめました。でも、ぶどう棚の下で食べる味は格別でした。幸いにも、他の客は少なくてのんびりと過ごすことができました。

行きのバス車中では共栄会会長の上原且資さんから「共栄会を巡る状況と課題」について報告があり、四ッ葉会会長の山田久子さん、ささゆり会会長の吉田則男さん、西尾明恵那市腎友会会長・佐伯昭二中津川市腎友会会長からそれぞれあいさつがあり、帰りの車中では「ビンゴゲーム」で楽しんできました。共栄会は、5月の岐腎協定期総会にて組織拡大で表彰されたこともあり、「褒美として会員に会費を還元しよう」との趣旨を絡めて、「全員にお土産を配ろう!」と、手配しました。参加できなかった会員にはこれは好評で、多くの方から感謝の言葉を頂きました。これによって、来年の参加者が増えることを期待したいと思います。本当に楽しい日帰り旅行でした。

